

報 告

近畿病院図書室協議会 第142回研修会（事例・研究報告会）

研修部

日時：2018年3月23日（金）10:00～12:00
場所：キャンパスプラザ京都2階 第1会議室

プログラム：

1. 当院における図書室運営の経緯と業務について

神戸市立医療センター西市民病院
職員図書室 村上 敦子氏

2. 病院図書室引継ぎ顛末記

国立病院機構京都医療センター 図書室
安井久見子氏

3. 病院図書室での司書着任による効果

加古川中央市民病院 図書室
藤原 純子氏

4. 新目録システム“coimo”について

藍野大学 中央図書館 増田 徹氏

参加者数：34名（会員33名、賛助会員1名）

1. 当院における図書室運営の経緯と業務について

病院図書館の担当者として20年近い経験を持つ方からの病院図書館の運営についての報告で

あった。

2. 病院図書室引継ぎ顛末記

病院図書館担当者の引き継ぎについての事例を報告された。

3. 病院図書室での司書着任による効果

2つの病院が移転統合し新規オープンし、新しく病院図書館が設置された。旧病院には存在しなかった司書が着任することによる院内情報サービスの変化と、文献取り寄せにかかわる経費削減を中心に報告された。

4. 新目録システム“coimo”について

2013年4月より運用を開始したKITOcatの提供が2018年3月に終了するとの業者の通告を受け、2018年4月稼動をめざして新しい目録システムを構築してきた。その現在の状況を報告された。

（文責：井上智奈美／三菱京都病院）